

ふくしのひろは

令和6年
(2024)
2月号
No.152

\\ 皆さまとともに50周年 //



トピックス

お知らせ

- * 太宰府市社会福祉協議会 法人化50周年特集 ……P 2～5
- * 社協ホームページをぜひご利用ください ……P 7
- * コロナ特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)を借りられた方へ
～特例貸付償還事務センターのご案内～ ……P 11
- * 人権まつりだざいふ2024が開催されます ……P 12
- * 「声の広報」貸出のご案内 ……P 12

ひろがれ! 地域の輪

- * 笑顔あふれる見守り訪問活動♪(新町区・湯の谷西区) ……P 6

今月の表紙

ありがとうの気持ちを込めて

太宰府市社会福祉協議会は
社会福祉法人化50周年を迎えました。
社協が目指す「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて、これまで私たちと共に歩んでくださった皆さんに感謝します。
今号は法人化50周年を記念して4ページ増でお届けします。





太宰府市社会福祉協議会は

地域の皆さまとともに歩んだ50年 ～支え合い・助け合いの地域づくりを目指して～



社会福祉法人
太宰府市社会福祉協議会
会長 佐伯 幸昭

太宰府市社会福祉協議会は、昭和35年10月太宰府町役場内に「太宰府町社会福祉協議会」として設立され、昭和49年2月社会福祉法人として設立認可を受けました。昭和51年4月には、太宰府町社会福祉協議会立「保育所太宰府園」を開園しました。太宰府町では3番目の保育所であり、民間保育所としては初の設置となりました。

社協は、行政をはじめ自治会・地域の皆さま、社会福祉法人、福祉施設等、民生委員・児童委員、保健・医療・教育など関係機関の参加協力のもと「地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することができる福祉のまちづくり」の実現を目指してさまざまな地域福祉活動を推進してきました。この50年間、社協の活動を支え、発展に貢献していただきました先人の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

社協は、法律(社会福祉事業法/昭和26年)に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的に設立された民間の非営利組織です。民間組織としての柔軟性と、広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をあわせもち、全社協、都道府県社協(47社協)、特別区社協(23社協)、市町村社協(1,718社協)で構成された全国組織です。社会福祉法人としては、現在国内で約20,000法人が認可されていますが、約10%の2,000法人が「社会福祉協議会」としてそれぞれの地域で地域福祉の推進を担っています。

国においては、平成29年に社会福祉法が改正され「地域共生社会の実現に向けた地域づくり・包括的な支援体制の整備を推進する」ことにより「子ども・高齢者・障がい者などすべての人々が地域で、暮らし・生きがいを共に創り、高め合うことができる社会」の実現を目指しています。

市町村においては、これまでの相談支援等を生かしつつ、身近な地域において「相談支援」「参加支援」「地域づくり」を柱とした事業の創設が求められています。

太宰府市社協は、これからも身近な地域で活動している自治会・地域ボランティア団体をはじめ、福祉施設・団体、社会福祉法人、学校関係、医療関係等と協力し、高齢者や障がい者、子育て中の親子が気軽に集える「サロン活動」「居場所づくり」「福祉教育」等の取り組みを進め、地域福祉活動推進の拠点として役割を果たしていきます。

また、災害に備えて「災害ボランティアセンター」「福祉避難所」としての役割を行政と連携して努めていきます。

これからも、皆さまとともに「住み慣れたまちで安心して生活することができる福祉のまちづくり」を目指していきます。ご理解・ご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

法人化50周年を迎えました

社会福祉協議会(略称:社協)とは



社協ホームページ

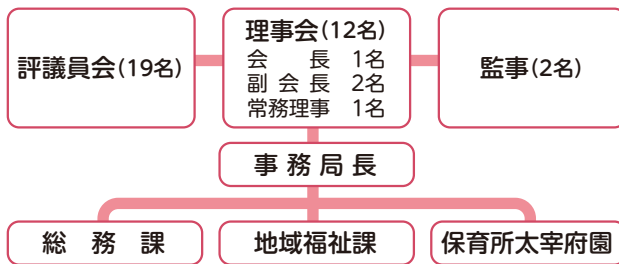
社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。昭和26年に制定された社会福祉事業法(現在の「社会福祉法」)に基づき、すべての都道府県・市町村に設置されています。

住民主体の理念に基づき、地域に暮らす皆さんのほか、社会福祉関係者・団体等の参加・協力のもと、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し、様々な福祉活動を行っています。

太宰府市社協の概要

◆ 基本理念 共生と共創のまちづくり

◆ 組織



◆ 事業概要 ホームページをご覧ください。

太宰府市社協 50年のあゆみ

◆ 主な出来事

- 昭和35年 10月 太宰府町役場内に「太宰府町社会福祉協議会」設立
- 昭和45年 8月 「社会福祉だより」第1号発行
- 昭和49年 2月 社会福祉法人として設立認可を受け独立
太宰府町社会福祉協議会立「保育所太宰府園」開園
- 昭和51年 4月 太宰府町老人福祉センター開館、運営を受託(平成18年4月より指定管理受託)
- 昭和57年 4月 市制施行により「太宰府市社会福祉協議会」に名称変更
- 平成元年 4月 「太宰府市総合福祉センター」開館
- 平成2年 4月 「福祉委員」制度開始
- 平成3年 9月 「社会福祉だより」を「社協だより」へ改称
- 平成3年 12月 「出会いの広場」を初開催(現在の社協福祉まつり)
- 平成3年 5月 市内にひまわり会第1号誕生(東ヶ丘区ひまわり会)
- 平成5年 4月 ひまわり会の組織化支援を開始
- 平成9年 7月 「ひまわり会交流研修会」(現在の小地域福祉活動実践者交流研修会)を初開催
- 平成9年 10月 「社協だより」を「福祉のひろば」に改称し第1号発行
- 平成12年 4月 「移送サービス事業」開始
- 平成12年 4月 「総合相談事業」開始
- 平成13年 4月 保育所太宰府園内に子育て支援センター「たんぼぼクラブ」開設
- 平成14年 4月 日常生活自立支援事業「ほのほのサービス事業」開始
- 平成17年 2月 ホームページ開設
- 平成18年 3月 「第一次太宰府市地域福祉活動計画」策定
- 平成22年 7月 太宰府市総合福祉センターが福祉避難所に指定
- 平成26年 3月 「筑紫地区社会福祉協議会災害時相互支援協定」締結
- 平成29年 7月 「保育所太宰府園」新園舎開園
- 平成29年 8月 「生活支援コーディネーター業務」受託
- 平成30年 10月 「太宰府市社会福祉法人連絡会」設立
- 令和元年 6月 筑紫女学園大学と連携協定締結
- 令和元年 8月 福岡女子短期大学と連携協定締結
- 令和4年 2月 「太宰府市災害ボランティアセンターの設置運営等に関する協定」締結
- 令和6年 2月 法人化50周年

昭和51年4月 「保育所太宰府園」開園



太宰府市内の保育所としては3番目、民間保育所としては市内初の設置となりました。平成13年度からは子育て支援センター「たんぼぼクラブ」も開設し、社会福祉協議会立としての特色を生かした地域に根差した保育所運営を行っています。

平成3年5月 市内初の「ひまわり会」東ヶ丘区に誕生



福祉委員を中心に地域で福祉活動を行うボランティアグループ「ひまわり会」が誕生しました。平成4年1月に「東ヶ丘区ひまわり会」として社協に登録されて以降、「ひまわり会」活動は市内全域に広まり、現在では40地区で組織化されています。

平成9年度 ひまわり会交流研修会



梅香苑区、桜町区、湯の谷西区からの活動報告やグループごとに各地区の活動状況等の情報交換会を行いました。

平成11年度 リフトカー贈呈式



24時間テレビチャリティ委員会様及び国際ソロブチミスト太宰府様より贈呈されたリフトカーにて平成12年度より移送サービス事業がスタートしました。



太宰府市社会福祉協議会は

写真で振り返る昔と今

◆手話奉仕員養成講座(手話講習会)



「完全参加と平等」をテーマとした国際障害者年である昭和56年には、手話講習会を取り組みの柱の1つとして実施しました。当時は毎週月曜と水曜の週2回、老人福祉センター2階の大広間にて開催し、50名の参加がありました。

◆福祉教育の取り組み



現在も実施している学校での福祉体験のほか、ジュニアボランティア体験スクールや子ども福祉大使など形を変えながらも、地域福祉の推進における重要な取り組みの1つとして「福祉教育」に取り組んできました。



障害者総合支援法の施行により、平成26年度から本講座は市町村の必須事業に、そして入門課程に加え、基礎課程までを含めたカリキュラムとなりました。その後も社協が事業を受託し「太宰府手話の会」の協力のもと、40年以上にわたり奉仕員の養成を続けています。



令和4年度には、小学校での福祉体験学習を支援する「福祉教育サポーター養成講座」を開催し、現在25名のサポーターが活躍しています。また、地域や家庭と連携した福祉教育の一環として、親子で参加できる「子ども福祉体験」も毎年実施しています。

◆社協だより「ふくしのひろば」



昭和47年1月発行
「太宰府町社会福祉広報
(社会福祉だより) 2号」

当時は太宰府町役場内に事務局があったことが記されています。



平成9年10月発行
「福祉のひろば 1号」

新たに「福祉のひろば」と愛称を名付け、ボランティアの広報委員の皆さんと共に再スタートしました。



令和5年12月発行
「ふくしのひろば 151号」

現在では平仮名表記の「ふくしのひろば」とし、社協事務局及び保育所太宰府園職員で構成する広報委員会にて作成しています。

法人化50周年を迎えました

近年の取り組み

共同募金 新たな募金手法



平成23年1月「ゆめ畑太宰府店」の協力により、太宰府市初となる「赤い羽根自販機」が設置されて以降、自治会・福祉施設・医療機関・企業など多くの協力をいただき、現在では10台の自販機が設置されています。また、令和5年3月には「NPO法人福岡福祉とびうめ会」の協力により、太宰府市初となる「寄付つき商品」が誕生しました。

市内大学との連携協定締結

地域課題の解決や福祉人材の育成に寄与することを目的として、令和元年6月に筑紫女学園大学、8月に福岡女子短期大学とそれぞれ連携協定を締結しました。筑紫女学園大学とは「子どもふれあい広場」の共催など、福岡女子短期大学とは保育所太宰府園における保育実習の受け入れなどを通して、「教育」と「福祉」の連携強化を図っています。

災害支援への取り組み

近年、全国各地で災害が発生しており、県内でも「災害ボランティアセンター」が設置されることが増えました。太宰府市社協では、義援金募集やボランティア活動保険の加入受付のほか、県社協や被災地社協からの要請により職員を現地に派遣し、センターの運営支援や復旧作業等の支援を行っています。

また、発災時には太宰府市社協でも災害ボランティアセンターを設置することを想定し、令和5年12月には福岡県社協の協力のもと、筑紫五市社協合同で「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施しました。



太宰府市社会福祉法人連絡会



平成28年の改正社会福祉法により「地域における公益的な取組」が社会福祉法人の責務として位置づけられました。この取り組みを、社会福祉法人間の連携・協力により円滑かつ有効的に推進することを目的とした「太宰府市社会福祉法人連絡会」が市内11法人で平成30年10月に設立され、情報共有を中心とした担当者会議を定期的に開催しています。令和5年には新たに1法人が加盟し全12法人で組織されています。

コロナ禍の対応



令和2年からのコロナ禍では、緊急事態宣言下にて総合福祉センターの臨時休館や福祉バスの運休、社協福祉まつりの中止等の措置をとる一方、館内消毒の徹底や来館者の体温測定等を実施し、状況に応じて福祉委員研修会を分散開催するなど、コロナ禍でも実施できる方法を模索しながらの事業運営となりました。

特にほのほのサービスや保育所太宰府園の保育業務などの利用者の生活に直結する事業については、感染対策に十分配慮しながら職員体制を駆使し、継続して実施することができました。

コロナ禍における生活困窮者を対象とした生活福祉資金の特例貸付では、約2年半の受付期間で延べ4,000件の相談に対応しました。現在は令和5年1月から償還が開始されたことに伴い、困窮状態が続いている世帯に対する相談支援を行っています。

また、令和3年2月には、筑紫女学園大学を中心に開催した「大学生・留学生への食糧支援・生活相談会」に共催者として参画しました。この取り組みでは、コロナ禍により経済的な影響を受けている大学生・留学生を対象に、手作り弁当や食材の配付、生活上の悩みごとに対しての情報提供等を行いました。

おかげさまで社会福祉法人化50周年を迎えることができました。

これまでのあゆみを振り返る中で、社会情勢や時代の流れによって形を変えてきた地域の様子や社協の取り組みについて知るとともに、その中でも変わらない「福祉のまちづくり」への先人たちの想いに触れ、その想いを繋いでいくことの重責に身が引き締まる思いです。

これからも地域の皆さんと「共に生き、共に創る」ことを大切に「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指して、精一杯取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年度は、50周年を記念したイベント等の企画を実施予定です。
詳細が決まり次第、社協より「ふくしのひろば」やホームページにてお知らせします！

特集ページを作成するにあたり、写真の提供等にご協力いただきました皆さんにお礼申し上げます。



笑顔あふれる見守り訪問活動♪

太宰府市内には、外出が難しい高齢者に対して、定期的に見守り訪問活動をされている地域があります。今回は、12月に行われた新町区と湯の谷西区の活動に密着取材をしました!

in 新町区

新町区では、3年ほど前から75歳以上の独居高齢者を対象にひまわり会スタッフによる見守り訪問活動を行っています。この取り組みでは、花を育てる楽しみが毎日続くようにという思いから、花鉢をお配りしています。



今年は「プラチナケール」の花鉢と日用品を持参♪

シーン 1

今年の訪問先は15件。訪問先の分担や花鉢の袋詰め等、スタッフの方々が集まり打ち合わせ中!



シーン 2

「いつも気にかけてくれてありがとう」と笑顔でお出迎え♪



in 湯の谷西区

ひまわり会では、地域住民との繋がりを絶やさないように、顔を見てお会いする機会を作りたいという思いから、70歳以上の高齢者がいる約90世帯に向けて見守り訪問活動を行っています。

“辰”の干支人形付鏡餅とお手紙を持参♪



シーン 1



ボランティアの皆さんそれぞれが、相手を想いながら訪問中♪

シーン 2



訪問先では、思い出話や近況報告など話に花が咲きました♪

取材を終えて



新町区では「活動内容を企画するうえで、スタッフとの何気ない会話や、他地区の活動等がヒントになっている。」との話を伺い、ヒントを活用できるように、日頃から色々な所にアンテナを張る姿勢を学ばせて頂きました。また、湯の谷西区では「できる人が、できる時に、できることをする」をモットーに活動している。」等の話を伺い、ボランティアも住民も互いに支え合って活動されている様子が伝わってきました。

また、2地区とも訪問先お一人お一人の笑顔が印象的で、日頃のボランティアさんたちとの信頼関係が伺えました。これからも、繋がりの輪が広がるよう応援しています!

生活支援コーディネーター 久場

地域の支え合い情報を募集しています!

見て楽しい、
使って便利!

社協ホームページをぜひご利用ください

社協のホームページでは、事業やイベントのお知らせの他、暮らしに役立つ情報を随時掲載しています。パソコン、スマートフォンの両方からアクセス可能ですので、お好みの方法でご覧ください。

パソコン版



スマートフォン版



ホームページのお勧めコンテンツをご紹介します♪

① カレンダー



トップページのカレンダーで、当月の相談日やイベントなどを一目でチェックできます。

② 社協のあしあとライブラリー



社協の行事やイベントなどの取り組みを、魅力ある写真で公開中です!当日の雰囲気を実感いただけます!

③ 保育所・太宰府園ブログ「こんなことがあったよ」



園内行事などを随時ブログで紹介しています。園児の元気いっばいな声が聞こえてきそう♪

その他、下記書類のダウンロードが可能ですので、提出の際などにご利用ください。

- **福祉バス**：利用申請書一式
- **小地域福祉活動助成金**：地域福祉ネットワーク推進組織届、地域福祉活動助成金交付申請書など
- **子育て支援活動助成金**：子育て支援ネットワーク推進組織届、子育て支援活動助成金交付申請書など

寄稿

「エ・コラボ報告会」

～18年の活動を振り返って～

令和5年11月25日土曜日、太宰府市総合福祉センターにて「エ・コラボ報告会」を行いました。

私たちは障がいのある人の働く場を作ることを目的に平成18年より資金を集める・人とつながる・温かい地域をつくることを大切に活動してきました。令和2年度に目標額の1千万円を達成、皆さまから頂戴したご協力のご恩を「恩送り」・「恩のバトン(寄付)」としてNPO法人福岡福祉とびうめ会さんにお渡ししました。

報告会では、とびうめ会さんより寄付で購入された機械のことや障がいのある方々が働かされている様子、収入アップに活かしていただいていることなどをお話しいただき、エ・コラボからは18年分の活動、お世話になった方々との懐かしい映像で思い出を振り返りました。参加いただいた方同士もお久しぶりの方も多く、会場は同窓会のような感じでした。

ねぎらいの言葉と共に、楽しかったと言っていただき、コロナ禍で3年遅れになりましたが、皆さまに働く場の資金の報告、感謝をお伝えできて本当に良かったと思えました。

資源回収やバザー品の提供で応援いただいた方にも、この記事で感謝が伝わればと思います。資金を集める活動は終了しましたが、これからもできることで活動は続けていきます。どうぞよろしくお願いします。

(協働わーくす エ・コラボ 田畑 薫・末田 たか子)





11月11日

社協福祉まつり「出会いの広場2023」



社協福祉まつりは、地域で活動する福祉関係団体と地域の皆さんとの交流を通して、福祉への理解を深めていただくためのイベントとして開催しており、今回で9回目となりました。

今回は、コロナ禍により4年ぶりの開催となりましたが、アットホームな雰囲気の中、体験・物販コーナーなども多数出店され、様々な工夫を凝らしたブースが並びました！地域の皆さんの期待度も高く、朝早くから列を作って待たれ、今か今かと心待ちにされている様子が伺えました。

また、出店団体以外にも、初登場のキッズダンスグループ「チアMAC」や、福岡農業高校「太鼓部」を含む4団体に、ステージを披露していただき、それに合わせて観客の皆さんも一緒に歌ったり、手拍子したりして、会場全体が一体となりました。普段は中々交流の機会がない出店団体や地域住民の方々にとって、新たな出会いと繋がりが生まれる場となりました。

ご来場いただいた皆さん、運営にご協力いただいた団体や学生ボランティアの皆さん、ありがとうございました！

来場者の声

「久しぶりに市民の方が多く集まり、楽しい時間を過ごす幸せを感じた。」

「たくさんの福祉団体が楽しそうに活動している様子が見れて元気をもらった。」

12月23日

災害ボランティアセンター設置運営訓練

近年、豪雨による災害が毎年のように発生しており、被災者とボランティアをつなぐ「災害ボランティアセンター」の設置・運営は社協の重要な取り組みの一つとなっています。

災害が起きた際に、スムーズに災害ボランティアセンターの設置・運営ができるよう、福岡県社協の協力のもと、筑紫五市(太宰府・筑紫野・大野城・春日・那珂川)の社協が合同で訓練を行いました。

太宰府市社協からは職員15名が参加、他市社協も合わせると総勢100名以上が参加する大規模な訓練となりました。

当日は、災害ボランティアセンターの役割や運営方法などの基礎的な内容に加え、近年主流になりつつあるスマートフォンを利用した受付方法の体験などを通して、ICT(情報通信技術)の活用による運営の効率化などについても学びました。

また、Facebookを活用し写真や動画とともに訓練の様子を投稿するなど、SNSによる情報発信の演習も並行して実施しました。

災害ボランティアセンターの運営に不可欠な広報活動についても体験的に学ぶことができ、参加した職員一人ひとりのスキルアップにもつながりました。

太宰府市社協では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに向け、引き続き、災害時の備えを進めていきます。





11月20日

太宰府市社会福祉法人連絡会 担当者会議

今回は担当者会議ということで、公益的な取り組みに関する事例報告を行いました。

市内4法人の連携！「ふくおかライフレスキュー事業による生活困窮者等の支援」

生活上の困りごとを抱えながらも既存の制度の対象にならず、どこからも支援を受けられない方へ、恵徳会・同朋会・宰府福祉会・社協の4法人で力を合わせて支援を行いました。

連絡会では、支援にあたっての各法人の思いや参加された職員さんからの報告も交え、取り組みの詳細について共有ができました。

市内2法人の協力で実現！「こども福祉体験2023」

「みんなでふくし体験in宰府園」と題し、宰府福祉会と社協の2法人で企画段階から協議を重ね、利用者さんのお仕事である「木工作业」や普段から楽しんでいるレクリエーションなどを通して、子どもたちと利用者の皆さんが自然に交流できるプログラムを作り上げました。

参加した子どもたちやその保護者、学生スタッフなど、たくさんの方に障がいについて理解を深めていただくことができ、福祉教育としての取り組みにつながりました。

各法人からの報告を受け、法人間の連携による支援策の充実や、地域への公益的な取り組みにつながることを認識できる機会となりました。引き続き、法人間で連携をとりながら、取り組みを進めていきます。

11月24日

第46回 太宰府を美しくする友の会式典

“太宰府を美しくする友の会”式典では、日頃の会員の皆さんの活動をねぎらい、年間皆勤者に対する表彰や1年間の活動報告等を行っています。最後には、保育所太宰府園の園児たちによる可愛いステージを楽しみました。

“太宰府を美しくする友の会”とは？

「お互いに助け合い、協力しあって、清潔な住み良い街を創ること」を目標に、清掃ボランティア活動を行っています。

現在は、地域の長寿クラブをはじめとする7団体が加入し、総勢約100名の会員が、市内の史跡地や公園、公共施設周辺等を毎月清掃しています。

新規加入団体や活動に参加してみたい方等興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ：太宰府を美しくする友の会事務局(太宰府市社会福祉協議会) TEL:923-3230



友の会西郷会長によるあいさつ



園児たちによる力強い竹打ちを披露！

12月8日

子育てサロンスタッフ座談会

今回は社協に登録のある子育てサロンボランティアスタッフが集まり、各サロンが実践している活動やスタッフの役割、保護者が息抜きできる環境づくりの工夫などについて意見交換が行われました。

運営上の悩みを相談し合える機会にもなり、区内外問わずに子育て世代が楽しめるサロンを心掛けていたり、食事提供時のレシピをたくさん持っているサロンがあったり、各サロンの在り方を知ることができました。また、サロン同士のつながりを深める座談会となりました。

各子育てサロンの特徴がより伝わるようにワークシートを使って情報共有中です！



おすすめの活動は…？とメモが走ります♪



いろいろな募金方法があります

赤い羽根共同募金 寄付つき商品

NPO法人福岡福祉とびうめ会(以下とびうめ会)の寄付つき商品が、今年6月から販売をスタートしています！みなさんご存じですか？

商品は、国産・無添加の手作りペットおやつ(2nd Kitchenシリーズ)とアニマルバンダナです。売上の一部が、赤い羽根共同募金に寄付され、太宰府市内の地域福祉活動に役立てられます。

●商品紹介

製造・販売を行うのは、とびうめ会が運営する障がい者就労支援施設「とびうめワークセンター」と「ワークス観世音寺」です。様々な障がい理由で現状では一般就労や社会参加が困難な方々が、就労に向けた訓練の一環で製造しています。



国産無添加
全14種類

ペットおやつ(2nd Kitchenシリーズ)



アニマルバンダナ

●購入はこちらから

① インターネットショップ →



② 社協窓口(注文)

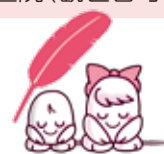
赤い羽根自販機

「置いてお得」「買って幸せ」「みんなが笑顔に」なる赤い羽根自販機があります。飲み物を購入すると、売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付される自販機です。現在、太宰府市内には10台設置されています。

設置者の皆さまご協力ありがとうございます

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| ① JA筑紫ゆめ畑太宰府店(石坂1-22-15) | ② 太宰府市総合福祉センター(白川2-10) |
| ③ ふらっと秋山館(石坂1-14-31) | ④ 通古賀公民館(通古賀4-6-26) |
| ⑤ 太宰府市役所(観世音寺1-1-1) | ⑥ ダスキン向佐野支店(大佐野1-3-3) |
| ⑦ 障がい者支援施設 福岡光明園(三条1-4-2) | ⑧ 太宰府ひまわり保育園(大佐野2-1-12) |
| ⑨ 鹿子生整形外科医院(五条3-4-14) | ⑩ あきよし外科胃腸科医院(観世音寺3-12-1) |

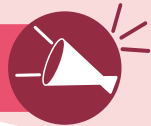
詳しい設置場所は社協ホームページからご確認ください♪
赤い羽根自販機のご利用・ご協力よろしくお願いたします。



設置者募集

普通の自販機と同じ条件・内容で気軽に社会貢献ができます。
設置・置き換えは基本無料です。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：福岡県共同募金会太宰府市支会(太宰府市社会福祉協議会) TEL:923-3230



寄付のお礼

令和5年11月9日
～令和5年12月15日

一般寄付

- 寄付者名 いわいしこう 岩石功ハーモニカ
ライブ実行委員会 様
行政 区 通古賀区
- 寄付者名 こがけん 古賀 健 様
行政 区 五条区
- 寄付者名 還暦子丑会 様
行政 区 北谷区
- 寄付者名 さかき えみこ 榊 恵美子 様
行政 区 五条台区

香典返し寄付

- 寄付者名 みやはら かつもと 宮原 巨元 様
故 人 名 みやはら みよこ 宮原 美代子 様
続 柄 妻
行政 区 三条台区
- 寄付者名 いけうち みつこ 池内 光子 様
故 人 名 いけうち やすひろ 池内 裕弘 様
続 柄 夫
行政 区 通古賀区

物品寄付

- 寄付者名 太宰府市声のボラ
ンティアグループ 様
～心よりお礼申し上げます～

令和6年能登半島地震災害義援金の
募集協力について

令和6年1月1日に発生した「令和6年度能登半島地震」により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。共同募金会では、被災された方への支援として、災害義援金の募集を行っています。

- ①設置期間：令和6年1月5日(金)から令和6年3月29日(金)まで
- ②設置場所：太宰府市総合福祉センター1階ロビー

皆さまから寄せいただいた義援金は被災県においてとりまとめられ、被災市町村を通じて被災者へ配分されます。皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

コロナ特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)を借りられた方へ

特例貸付償還事務センターのご案内

コロナ特例貸付の返済について電話で相談ができます。

★償還(返済)が難しい…。

あなたに合った返済方法を提案していただけるかもしれません。
…償還猶予(返済を待ってもらう)、毎月の返済額を減らす等

★償還免除(返済をしなくてもよい)に該当するかどうか知りたい!

※償還免除の要件はこちら
(福岡県社協ホームページ)⇒



★その他、償還(返済)のことで教えてほしいことがある。

こういったお悩みを償還事務センターに相談してみませんか?
(お悩みの内容によっては解決が難しい場合もあります。)

福岡県社会福祉協議会 生活福祉資金特例貸付償還事務センター
TEL:092-718-7720(平日9:00～17:30)

車いすの安全点検 ありがとうございます!

社協では、介護保険利用開始までの期間や入院・入所中の方の一時帰宅の際などにご利用いただけるよう、車いすの貸出を行っています。この車いすを皆さんに「安心・安全」にお使いいただくために、今年度も点検・メンテナンス・修理を無償で行っていただきました。

NPO法人サイクルスポーツ九州の皆さん、太宰府市身体障害者福祉協会・筑紫台高校自動車研究部の皆さん、ありがとうございました。

※車いすの貸出については、社協ホームページでご確認ください。



NPO法人 サイクルスポーツ九州の皆さん
令和5年6月29日(木)実施



太宰府市身体障害者福祉協会・
筑紫台高校自動車研究部の皆さん
令和5年12月9日(土)実施

太宰府市身体障害者福祉協会の歳末たすけあい配分事業として、筑紫台高校自動車研究部の皆さんに毎年ご協力いただいています。





「声の広報」
貸出のご案内

点字版もあるよ

声の広報とは「広報だざいふ」、社協だより「ふくしのひろば」、
「議会だより」を、声で録音したCDのことです。また社協だより
「ふくしのひろば」は点字版も製作しています。これらは、社協か
ら目の不自由な方を対象に、無料で貸出を行っています。さらに、
広く市民の皆さんに知っていただきたく、太宰府市民図書館にも
CDと点字版を置いています。一度足を運んでみてください。



※「声の広報」は「太宰府市声のボランティアグループ」が、点字版
は「太宰府てんとう虫の会」が製作しています。
※CDは、デジ書専用再生機、パソコン、CDプレーヤー
(MP3対応)で聴くことができます。

人権まつりだざいふ2024
が開催されます

人権まつりは、人権問題解決のために「今自分
にできることは何か」を考え、様々な立場の
人々がつながり合う場として毎年開催されて
います。

社協も「誰もが安心して暮らせる福祉のま
ちづくり」を目指す組織として例年参加して
おり、今回も取り組みを紹介するパネル展示
を行います！また、市内保育所の展示コー
ナーでは、保育所太宰府園もパネル展示を行
います！

入場無料・申込不要ですので、皆さんぜひ会
場へお越しください！

日時
令和6年 2月25日(日)
9:30～13:00

会場
プラム・カルコア太宰府
(太宰府市中央公民館)

内容
展示コーナー・体験コーナー
出店コーナー・ステージ発表など

ご利用ください！！
無料相談窓口

場所 太宰府市総合福祉センター
1階相談室(太宰府市白川2番10号)

予約お問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会
TEL:923-3230

名称	日程	時間	内容	予約
一般相談	第1～4水曜日 第1金曜日	10時～15時	心配ごとや悩みごと何でも相談	不要
行政相談	第1金曜日	10時～15時	国・県・市町村など行政に関する相談	不要
障がい者相談	第2木曜日	10時～12時	障がい者福祉に関する相談	不要
弁護士相談	第2火曜日 第4土曜日	13時～16時	法律に関する相談(相談時間30分)	要予約 (15日前から受付)
あんしん相談	2月15日(木) 3月19日(火)	13時～16時	成年後見制度に関する相談(相談時間60分)	要予約 (随時受付)

※弁護士相談以外はお電話での相談も可能です。 ※祝日の場合は中止とさせていただきます。

発行 社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会
〒818-0102 福岡県太宰府市白川2番10号
TEL:092-923-3230 FAX:092-923-0578
メール:dazaiwashakyo-goiken@extra.ocn.ne.jp

配信 ホームページもご覧ください
太宰府市社会福祉協議会 検索
右のQRコードからも、太宰府市社協の
ホームページへ簡単にアクセスできます！

スマート
フォンから
見やすく
なりました